



Vol. 03

木村 由起子 氏
社会医療法人社団順江会介護老人保健施設かがやきライフ江東療養部長
医療経営士3級

実践研究講座 講師インタビュー

看護部門と一緒に 病院を盛り上げていきたいと 思っている人に参加してほしい

医療経営士試験の合格者が1万5000人を超え、医療経営士は「量の拡大」から「質の向上」のフェーズへの移行が求められている。そうしたなかで株式会社日本医療企画ヘルスケア経営学院では6月から、医療経営士の専門性を高めるための継続学習の場として、一般社団法人日本医療経営実践協会認定の「医療経営士実践研究講座」をスタートする。本コーナーでは、講座スタートを記念して講師を務める医療経営士にインタビューを行う。第3回は、「実践研究!『看護部門のマネジメント』」を担当する社会医療法人社団順江会介護老人保健施設かがやきライフ江東療養部長の木村由起子さんに登場いただく。

医療経営士との交流で 新たな視点を得る

6月からヘルスケア経営学院「医療経営士実践研究講座」がスタートします。どのように捉えておられますか。

私自身は長年看護師として病院勤務をしてきたのですが、医療経営士のテキストシリーズを勉強して資格を取得するなかで、「病院のなかで必要なのは看護の視点ばかりではない」ということに気づきました。それが一番の収穫と言えます。

看護には職能団体である看護協会があり、そこでも管理・経営に関する研修などを実施しています。しかし、看護に限ったことではありませんが、職能団体が実施する研修はそれぞれの視点から語られているのに対し、医療経営士はより一般化・概念化されているため、職種や業種にかかわらず共通の学びを得ることができそうです。医療経営士の研究会などでほかの方の話や世界が見えてきて、まさに目を見開かれるような思いでした。現在は老健に異動し介護分野のマネジメントにかか

わっていますが、視点が異なる医療経営士との関係性のなかで得たさまざまな学びは、今も活かしていると感じています。

新たな視点を得て、別の世界を感じるという経験をできる意味で、新しく始まる講座も意義のあるものだと思います。

「働き方改革」は 重要なテーマの一つ

木村先生は同講座のなかで「実践研究!『看護部門のマネジメント』」を担当されます。講座の内容や重点的に学ぶ分野を教えてください。

講座では、看護部門において必要なマネジメントの視点、具体的な手法などについて学んでいただきますが、私が取り上げたいと思っているテーマの一つが働き方改革です。

看護師の過労自殺を機に看護協会ではワーク・ライフ・バランスを重視した取り組みを進めてきました。以前は「患者さんの情報収集をしなければならぬから、新人看護師は勤務開始1時間前出勤する」といった状態が普通



きむら・ゆきこ ● 1980年、東京女子医科大学看護短期大学卒業後、同大附属病院看護部に就職。86年、江東病院看護部に入職し、2004年からは看護部長を務める。03年、日本キャリア開発協会CDA、05年、人間総合科学大学人間総合学科学卒業。介護支援専門員、医療経営士3級、介護福祉経営士2級

い、私は病棟を任せられたときにこうした慣習をやめました。

看護師が働き続けることのできる職場環境を実現していくには、単に労務管理をきちんと行えばよいということではありません。看護部門トップの意識改革が必要で、それを実現するための人材確保、教育研修体制づくりといったマネジメントが不可欠となります。こうしたテーマについて、皆さんと一緒に考えることができると思っています。

最後に、同講座への参加を検討している医療経営士にメッセージ

ジをお願いします。

この講座は自部門のマネジメントについて学びたい看護師だけではなく、看護部門のマネジメントを学びたい看護以外の医療経営士も参加されるかと思えます。医療機関の事務職の方、他業種に勤めている方などです。

そこでお伝えしたいのは、看護部長や看護部門が変わりつつあるということ。昔の看護部門には、指示命令系統がしっかりしている教育体制も充実している「一枚岩の組織」である一方、経営への意識が高くない、人数にものを

言わせる、他職種への理解に乏しいといったマイナスイメージがあり、それがなんとなくつつきづらいつながってしまっているのではないかと思っています。

ですが、看護部門は着実に変わってきています。私は病院機能評価のサーベイヤーとしてさまざまな病院を訪問していますが、院長や副院長の意見を聞きながら病院にとってより良い提案をしている看護部長が増えてきましたし、チーム医療のなかで他職種を尊重しながら取り組む姿勢も出てきています。また、経営に対する意識も変化しており、師長クラスを中心に経営指標を踏まえたベッドコントロールなどにも取り組むようになってきました。

私のこれまでの経験はもちろん、他院の状況も踏まえて看護部門のマネジメントのイマを伝えることで、看護部門と他職種・他業種の間にあつた壁を取り払うことができると思っています。グループワークなども交えながら、看護部門のマネジメントに参加して、一緒に病院を盛り上げていきたいと思っ

本物の実践力を身に付け、病院経営を支える人財を育てる

2019年6月開講 医療経営士実践研究講座

実践力が身に付く3つのポイント!

- ★医療経営の現場を熟知した医療経営士から学べる!
- ★短期間で実務能力をあげるカリキュラム!
- ★双方向型の効果的な授業スタイル!

※2019年4月より順次募集受付(予定)

木村 由起子 先生の担当講座はコレ

医療経営実践研究講座[メディカルスタッフ・マネジメントコース]

「実践研究!『看護部門のマネジメント』」

お問い合わせ:ヘルスケア経営学院事務局(TEL:03-3258-2798)